

第 1 回産業厚生常任委員会 会議記録

日 時	開会	令和 4 年 5 月 13 日（金）午後 2 時 35 分				
	休憩					
	閉会	令和 4 年 5 月 13 日（金）午後 3 時 7 分				
会議場所	斜里町総合庁舎 3 階 議員控室					
出席委員	委員長	宮 内 知 英		委員	山 内 浩 彰	
	副委員長	櫻 井 あけみ		委員	佐々木 健 佑	
	委員	小 暮 千 秋		委員	須 田 修一郎	
欠席委員						
参 考 人						
傍聴者数	一 般 者	名	報 道 関 係 者	名	議 員	名
事務局職員	事務局長 平田 和司		議事係長 竹川 彰哲			
<p>産業厚生常任委員会を開催したので下記により記録する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 令和 4 年度 委員会活動の重点テーマについて (説明者：説明・提案内容)</p> <p>宮 内：令和元年度に今期の産業厚生常任委員会のテーマを「町の資源」とした。 また、年度ごとに重点テーマを定めるとし「子育て」「産業連携」「医療」「マンパワー」の四つを決めて、令和元年度は「子育て」、令和 2 年度はコロナの状況を鑑み「コロナ対策」、令和 3 年度は「マンパワー」とした。 これまでの経過を踏まえて、令和 4 年度は重点テーマをどうするか決めたい。 また、この後の議題の所管調査についても関連してくるので、意見をいただきたい。</p> <p>(具体的な議論事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度の重点テーマについて協議し決定する。 <p>(決定事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度の産業厚生常任委員会は「知床観光について」を重点テーマとすることとした。 ・個別の調査項目などについては、今後、委員会の中で検討していくこととした。 <p>(質疑等)</p> <p>櫻 井) 観光船の事故はかなり大きな問題。今後、町の観光として、どのような形で進めていくかというのは、大きな課題として取り組まなければならないことだと思う。 観光事業としてのリスク回避という部分では、観光地として安全を確保できることがあるのか。それに対して町も、今後、どのような形の観光施策を知床観光のメニューの中で進めていくかという中では、観光に関してというのは、欠かせない部分だと思う。 特に斜里町の観光は、観光振興計画にあるとおり、アクティビティに特化している。昔の</p>						

ように風光明媚なものを見て、夜、団体でお酒を飲んでという観光地ではない。

山 内) 所管の委員会として、事故があった段階からどんな議論ができるのかを考えていた。産業としての観光事業の在り方については、もう一度見直して、町としての姿勢はどうだったのかということを考えなくてはいけないのではないかと。

今回の事故は、町の条例規則から離れた部分の許認可だとかに委ねられている部分が多いのだが、地域として、町として、今回の事故が防げなかったのかということも含めて、誰が悪いということではなくて、再発防止につながるような調査を、4年前に決めたテーマがあるにせよ、この1年やっていった方がいいと思う。

須 田) 今期の大きなテーマは資源ということだし、現状、産業厚生委員会として捉えないわけにはいかない。間違いがないように、許認可は斜里町ではない。斜里町で起こった事故だということで、観光だけではなく産業全体に影響が出てきているので、産業厚生委員会で見守りして進めていくことは必要だと思う。

小 暮) 大きく傷ついた斜里町のイメージダウンというか、すべての分野への影響はすごく大きい。今後の斜里町の観光あり方、大きく傷ついた知床のイメージダウンをどう回復していくか、そのような視点で委員会のテーマとして取り組むにはふさわしいと思う。テーマとして捉えるのであれば、今回の事故のみならず、コロナの影響も出てくると思うので、テーマとしては広く「今後の斜里町の観光施策について」のような大きな枠組みにした方がいいと思う。

櫻 井) 施設的な部分では、以前から指摘されていたことだが、小型船や船舶のきちんとした乗り場の設備がない。ライフジャケットの着用やレクチャーを受けるスペースもない。屋根もなく、船が止められるのも一隻分のスペースしかないのが現状である。

他の観光船をやっている所では、発着乗り場があり、中で雨風がしのげるようになっていたり、雨や風の気象状況などが分かるようにしている。

最終的には事業者になるが、町として今後やっていかなければならないことは、まだまだ道半ばだと思う。今後、改善していかない限り、観光振興計画でうたわれている海のプログラムはなしえない。

海ばかりでなく、知床のガイドは町外からも多くきている。万が一、ガイド中にヒグマだとかに襲われる可能性もある。そのような場合のリスク管理や体制、何か起こった時に大丈夫かというのは、船ばかりではなくいえることだと思う。

宮 内) 個別の調査項目については皆さんと相談しながら今後、検討したい。

委員会としては「知床観光について」としたい。

→了

2. 道内所管事務調査について

(説明者：説明・提案内容)

宮 内：今年度実施する、道内所管事務調査について協議したい。

時期については、8月中旬までは行事等が入っていることから、8月下旬を目途として実施してはどうかと考える。

調査事項や目的・調査箇所については、できるだけ今年度の委員会活動のテーマに沿った形で選定したい。しかし、必ずしも全て縛られるものではない。6月定例会議にはおおよそ決定したい。

(具体的な議論事項)

- ・道内所管事務調査の実施時期と調査事項や目的・調査箇所について協議し、方向性を決定する。

(決定事項)

- ・時期については、8月下旬を第一候補とし、10月を第二候補とする。
- ・調査事項や目的・調査箇所については、LINEWORKSで情報共有し、6月定例会議を目途として決定する。

(質疑等)

特になし。

資料：なし

音声データ：04 [音声] 220513_第1回産厚委員会